



麻布幼稚園だより 5月号

平成26年4月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

朝のひとこま

園長 大島 美知代

朝8時45分、グリーンロードで73名の園児を迎えます。毎日、園児と保護者の一人一人と顔を合わせ、挨拶できる幸せを感じています。園児の挨拶は日々変化しています。表情も和らぎ、元気な声で挨拶する姿に嬉しさを感じています。

4月は年少組の登園時の世話を年長組に任せました。年長組は役目を続けるに従って、年長としての自覚が芽生えてきました。自分のリュックサックを置き、照れくさそうに、そして嬉しそうにグリーンロードに戻ってきます。4月の年長組には、言葉をかける余裕はまだありません。「おにいさん、おねえさん、ありがとう、もも組をよろしくね!」と私が声を



かけると黙って頷き、年少組の可愛い手を取り、保育室まで連れて行きます。この活動のお蔭で登園が早くなった園児もいます。ある日、ある年長児が時間ぎりぎりに登園し、年少組がその場に並んでいないのを見て「お世話したかった。まだ来るかな?」と言い、しばらく待っていた、という姿がありました。

この取り組みは3年保育のよさを生かした活動です。年長組が一つ下の年中組の世話をすると、もう一つ年下の年少組の世話をするのは違うようです。年が2歳違々と自分たちよりずっと小さい、と感じている様子が見られました。「3歳の年少組は小さいんだ。優しくしてあげよう!」という気持ちが芽生えます。この取り組みにより年長組の自覚が芽生え、「優しい気持ちをもってかかわること」「自分たちが年長者で、役に立っていること」を学ぶきっかけとなりました。今年度は様々なかかわりの活動を計画し、園児を育てていきたいと考えています。

年長組のお世話活動がなくなってからのことです。年中組がまねをして世話を始めた姿がありました。年長組が世話をしていないのを見て「一緒に行こう!」とばかりに手を出して連れて行く姿がありました。年中組は年長組の姿をよく見ていたようです。園児たちは日々学んでいます。

朝起きてから幼稚園の登園までの生活のリズムはできてきましたか。

朝は機嫌よく起きられますか。食事もトイレも済ますことができますか。園児が朝の支度をスムーズに行うために保護者がたくさん工夫をしているからだと思います。園児が1日を気持ちよくスタートする工夫等をぜひ幼稚園にも教えてください。保護者同士で教え合うのもよいと思います。

新緑の5月、早起きが気持ちよい季節です。「早寝・早起き・朝ごはん」に保護者の工夫を付け加え、園児が気持ちよく1日を始められるようにしましょう。